

第 59 代理事長 退任のご挨拶



第 59 代理事長 新家一徳 この度、第 59 代理事長を任期満了に伴い退任することになりました。

在任中、会員の皆様方には温かい御支援とご厚情を賜りました事に心より深く感謝申し上げます。

昨年、4 月の総会において理事長に選出され、第 58 代理事長秦氏からバトンを引継ぎ、理事長としての気質がなく、戸惑いながらの船出でしたが、時が経つのも早く、何とか無事に任期を終える事が出来ました。これもひとえに会員の皆様方のご指導、ご鞭撻ならびに御協力を頂いたからであると深く感謝しております。また、本会の活動が円滑に実施され、会員のためになるよう努めてまいったつもりでしたが、多々至らぬ点もあったかと思っておりますので、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。2012 年度のスローガンとして「感謝の心を」を掲げさせて頂いてスタートし、若い会員の方々に青年クラブでの良い伝統など知って頂いて時代にあった物を模索し、研鑽して頂き、そして感謝し、自分なりに伝えて行こうとやってきましたが、自分自身が改めてこの青年クラブの偉大さに気づかされ、会員の皆様方に教わる事が多かったような気が致します。今は役員、各事業に参加して頂いた皆様方には感謝の気持ちで一杯です。

もうすぐ、60 周年を迎えます、我々は大阪の菓子業の伝統を守り、時代の流れに沿って、新しい事にも積極的に取り組み、成長していくことが必要だと感じ、青年クラブの歴史において先輩方々に感謝し継続していかなければならないと思います。最後になりましたが、気になる良い詩がありましたので紹介したいと思います。いいことがあったら感謝するでは、普通なんです。いいことなんてめったにないから、感謝が少なくなっちゃうんです。それよりもイヤなことにも感謝する。

この詩を読んだときに私の中で<感謝の心を>のスローガンは一生続けていかなければと思いました。

今後も創造豊かで魅力のあるあふれる青年クラブの構築の為にも、会員様方には事業、運営に御協力いただくことを切にお願いいたしまして、理事長退任の挨拶と代えさせていただきます。